

**させほ夢大学**

発行●公益社団法人 させほ夢大学  
編集委員会  
事務局 / 〒857-0863  
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F  
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545  
http://www.yumedai.com/  
E-mail:sasebo\_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

# 夢のつづき

## させほ夢大学会報

No.268 (2018・4)

平成30年度  
**第1回**

2018年**4月19日(木)**

アルカスSASEBO 大ホール

●開 場 午後5:30  
●開講式 午後6:00  
●講 演 午後6:30

人生を俄然、面白くしたい! そう  
思いませんか?

今回の講師、丹羽宇一郎さんは、  
名古屋大学卒業後の昭和37年、伊  
藤忠商事に入社。ニューヨーク駐在  
等を経て、平成10年に代表取締役  
社長に就任。その時点で多額の負  
債を抱えていた伊藤忠商事の業績  
を、平成13年3月期決算では、なん  
と過去最高の705億円の黒字を計  
上するまでに回復された名経営者  
です。その後、中国政府とパイプを  
持つ財界人として、初の民間出身の  
中国大使となりました。

ビジネス界きっての読書家といわ  
れる丹羽宇一郎さんは、こうおっし  
ゃっています。



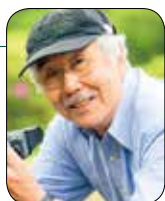
「もし、あなたがよりよく生きたい  
と望むなら、『世の中には知らない  
ことが無数にある』と自覚すること  
だ。すると知的好奇心が芽生え、人  
生は俄然、面白くなる」。そして、  
「自分の無知に気づくには、本がう  
ってつけだ。ただし、読み方には  
コツがある」のだそうです。

今回は、同名の著書も出されている  
「死ぬほど読書」がテーマ。本の  
楽しみ方が2倍にも3倍にもなる方  
法を指南していただけたと思いま  
す。本を読む人にしかわからないこ  
とがある一。

是非、今回の講演で、その極意を  
教えていただきましょう!!

講 師 ● 元 駐中国大使  
前 伊藤忠商事取締役会長 **丹羽 宇一郎氏**

テーマ・**死ぬほど読書**



### 次回のご案内

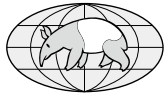
- と き / **5月17日(木)**
- 講 師 / 昆虫写真家 **栗林 慧氏**
- テーマ / **自由**

●1939年中国瀋陽生まれ。陸上自衛隊や保険会社に勤務しながら、  
東京総合写真学校で学ぶ。69年フリーの生物生態写真家として活動  
開始後、伊奈信男賞、内閣総理大臣賞、世界野生生物映像祭特殊撮  
影賞、レナート・ニルソン賞等多数受賞。08年紫綬褒章受章。昆虫中  
心の小動物から植物等を対象に国内・海外で撮影。幼児・児童向け  
書籍、マルチメディアの出版及び写真展やテレビ番組の企画・撮影も  
行う。「アリになったカメラマン」「栗林慧 全仕事」等写真集を出版。

### 丹羽 宇一郎 氏のプロフィール

●1939年愛知県生まれ。名古屋大学法  
学部卒業後、伊藤忠商事(株)入社、のち  
1998年社長、2004年会長として同社を  
再建。2010年6月～2012年12月民間人  
初の中国大使として中華人民共和国特命  
全権大使を務めた。現在は早稲田大学特  
命教授、グローバルビジネス学会会長、  
公益社団法人日中友好協会会長を務め  
る。「人は仕事で磨かれる」「危機を突破  
する力」「人を育てよ」「人類と地球の大  
問題」等著書多数あり。「死ぬほど読書」  
も好評。





# ともに学んで、明日に生きる させぼ夢大学 へようこそ

## 平成30年度（第27期）開講式

平成30年4月19日(木)

- ◆開 会
- ◆国 歌 斉 唱
- ◆開講のことば
- ◆祝 辞
- ◆閉 会

理 事 長 近 藤 正 人  
佐世保市長 朝 長 則 男

エレクトーン 北 島 悠 記  
                  畑 野 美 佳  
ソプラノ      原 さとみ

写真提供 石 井 隆 昌

### 歓迎のご挨拶

公益社団法人させぼ夢大学

理事長 近藤 正人

桜の花も散り始めるこの頃、生命の息吹が感じられる季節となりました。この度、第27期受講生としてお迎えする2,000名の皆様方を心より歓迎申し上げます。

させぼ夢大学は、県北の皆様方の熱い生涯学習の意欲に支えられ、27年目を迎えることが出来ました。今年も定員を遙かに超える3,220名のご応募を頂きました。それはきつと、県北市民の皆様方の向学心が如何に高いかの現れでしょう。

かつて、「土地ごとに自ら耕し、そしてそれを楽しむことこそ、文化の本質である。」と論じた人がいました。

「文化」、それは本来「耕作」つまり土地を耕すという意味があると言われます。土を耕し作物を育てる。しかしその耕す方法は地域によって違ってきます。無論収穫した作物も違います。そしてそれらによって祭りや宗教も当然その土地にあったものが生まれてきます。こうした土地土地に息づいている生き方の形式が文化の名に値するものだとも言えると思います。

低成長時代と言われる今日、がむしやらに働き、突っ走ったエネルギーが停滞し、今までもうでも良かった事に関心を持つようになり、「ふと我に返る」「改めて自分を見つめ直す」そんな時代を迎えているのかも知れません。

「青春は美しく、老年は快い」。これは、

中世のドイツ宮廷詩人エッセンバッハの言葉ですが、美しく、より豊かに年を重ね、量より質の高い生活を求める事によって人生を美しく彩る事が出来ると思います。快適な熟年を送る為に、是非夢大学での学習を生かして頂きたいと願ってやみません。

夢大学は、日本文化のそれぞれのジャンルから、トップランナーの講師をお招きし、そのご講演の中から、人間性、見識等を学び、私達が到底経験できない人生哲学、共感と感動を共有し、それを私たちの生活の中に、又地域社会に活かしていくことが肝要だと思えます。受講する私達は、青年、中年、壮年、それぞれの立場において、講話の中から一つだけでも心に残る言葉、教えを胸に抱きつつ、明日の心の糧にする、そしてその一つ一つが積み重ねられ、ついには私達一人ひとりの人格になり得るものと考えます。

知らないより知る方が楽しい、出来ないより出来る方が遙かに嬉しい、人と人とのふれあいの時の中で、

なんと素晴らしい過ごし方ではありませんか。それはきつと、もうひとつの人生を私達に与えてくれるはずであります。

日本を代表する10人の講師の講話の中から、私達はその人間性・見識等にふれ、どうぞさせぼ夢大学で学び、学んだことを生活に活かし、時間と空間を超えた新しいライフスタイルを構築してください。

さあ、90分の知的興奮が始まります。



第1回 4月19日(木) 開講式  
丹羽 宇一郎氏  
『死ぬほど読書』



第2回 5月17日(木)  
栗林 慧氏  
『自由』



第3回 6月21日(木)  
増田 明美氏  
『自分という人生の長距離ランナー』



第4回 7月19日(木)  
花田 景子氏  
『人を育てる、支える』



第5回 9月1日(土) 13:30~15:00  
辛坊 治郎氏  
『あいまいな日本の問題点をスッキリと解く』

平成30年度(第27期)講演会予定



第6回 10月18日(木)  
山形 由美氏  
『ふれあいコンサート  
フルートの音色で人と人を結ぶ』



第7回 11月4日(日) 13:30~15:00  
池上 彰氏  
『新聞からニュースを読み解く』



第8回 12月13日(木)  
戸田 奈津子氏  
『夢を追いかけて』



第9回 1月17日(木)  
岸 博幸氏  
『「今後の日本経済」の行方  
～地域の活性化が日本を救う』



第10回 2月21日(木)  
野村 萬斎氏  
『What's 狂言』

※ 講師の都合により、開催日時の変更をすることがあります。 ※ 天災その他不測の事態により、やむを得ず講演会を延期、または講師を変更して代替開催することがあります。

九十九詩人

作詞/阿久悠  
作曲/羽田健太郎

一 きみに教えよう 九十九島の

春の訪れを 誰よりも早く

空の青さが海に

溶けてひろがるブルー

あれが心の色と

伝えたいから

さあ きみはきつと鳥に

なりたい思いして

風運ぶ愛の手紙

抱きしめ 抱きしめ やつて来る

二 きみに聞かせよう 九十九島の

生きた喜びが あふれる景色

島の間を縫って

光る潮が走る

遠い未来へ架かる

橋をくぐって

さあ きみも今は詩人

季節の色を知る

夢つなぐ歌の言葉

いっぱい いっぱい 唇にして

三 きみに手渡そう 九十九島の

人のぬくもりと 忘れ得ぬ想い

風もひさびさ歌う

人と別れる歌を

いつか逢う日の誓い

涙で濡らして

さあ きみは季節の中

心を満たしつつ

旅立ちの支度終えて

何度も 何度も 手を振って

※ くりかえし

西海国立公園指定五〇周年記念曲  
九十九島の歌

『九十九詩人』によせて

平成十七年は、自然公園法に定められた「我が国を代表する自然の風景地」として、昭和三十年に「西海国立公園」が誕生して五〇周年を記念する年でした。

させば夢大学では、この記念すべき年にあわせて、西海国立公園の中核とも言える、雄大な「九十九島」の自然をイメージした、子どもにも大人にも親しまれ、愛される「九十九島」の歌を作って市民にお贈りしようと企画しました。

作曲を日本アカデミー優秀音楽賞など数々の賞に輝かれたピアノリストで作曲家の羽田健太郎氏に、作詞を日本レコード大賞や日本作詞大賞・紫綬褒章などを受けたられた阿久悠氏に依頼しました。こうして、海と島々の自然をあますところなく織り込まれた西海国立公園指定五〇周年記念曲『九十九詩人』が完成しました。

羽田健太郎氏のピアノと九十九フエスティバル管弦楽団の演奏により、ソプラノ歌手羽田紋子氏の歌唱によるCDを作成し、記念日の平成十七年三月十六日に佐世保市に寄贈いたしました。

「九十九詩人」を聴くことができます。

①当社ホームページ (<http://www.yumedai.com/>)で  
お聴き頂けます。

②スマートフォン等で、左記の「QRコード」をご利用の上、お楽しみください。

※なお通信料は、ご利用者負担となりますのでご注意ください。





# ふるさと 吉井紀行



## 吉井の地域性

吉井エコツーリズムガイド  
和田 隆

佐世保市北部に位置する吉井地区は、面積二十七平方キロと旧北松地域では小さい方の町であったが、貴重な史跡や自然景観に比較的恵まれている。「吉井」の地名は、明治の大合併時に、南部の「吉田村」、北部の「福井村」から一文字ずつをとった造語である。地形はいびつなダルマのような形をしているが、そのもつともくびれた部分に、南北を分断する標高三百以上の「牧の岳」が鎮座している。地形上で南北共通しているのは、どちらも平地が少なく、南部は佐々川に沿って、北部はその支流の福井

川に沿って、へばり着くように狭い平地が断続する。こうした地形は、歴史の変遷にも影響を与えた。中期において北部の福井村は松浦市の中心部や世知原とともに松浦党の志佐氏の領地で、南部の吉田村は、平戸や佐世保と同様に松浦党の平戸松浦氏の領地であった。

北部は松浦市に隣接し、境を接する複数の地区は現在でも松浦市にあるお寺を菩提寺とする檀家が多く、婚姻によって市域を超えた姻戚の交流も盛んである。一方南部地域は、平戸松浦氏の統治が長かったことや地理的条件から旧佐世保市との交流が盛んであった。

こうした歴史の違いは、地域的な気質の違いを生む。昔から北部は「純朴」そして南部は「進取」の特徴があった。それが昭和の高度経済成長期に、農家と非農家の混住化や生活圏の広域化が進み、両地区は気質においてもしだいに同化した。

吉井の地域特性を地層の面からみると「玄武岩層」と「砂岩層」である。基盤となる地層は、北松半島や佐世保市北部に共通する第三紀水成岩層である。この砂岩層こそが自然の浸食・風化作用によって平戸八景（潜流水と早岐瀬戸を除く）の奇観や洞窟を生み、その洞窟を先人が利用したことで、その数三十一カ所「洞窟遺跡日本一」の佐世保市を生み出した。吉井にはそのうち五カ所の洞窟遺跡があり、中でも「史跡福井洞窟」と「直谷岩陰遺跡」は、佐世保市でも特筆すべきものである。

また、数万年前に形成されたという佐々町から松浦市との境に至る佐々川断層は、吉井地域の西側を南北に縦断し、福井川や佐々川の成り立ちに大きく影響し、地域の原風景を醸し出している。

次回から、筆者のふるさと吉井地域の自然や史跡などをご紹介したい。

## 事務局だよ

### ★学生証について

- 講演会に出席の際は、学生証を提示して入場してください。
- ご本人が欠席の場合は、学生証があれば代理出席が可能です。代理出席の方には、必ず学生証を貸与してください。なお、代理出席の方で学生証がない場合は、残念ながら入場をお断りせざるをえません。
- 当日に学生証をお忘れの方には、「ご本人に限り」当日のみ有効の学生証を発行します。ただし、ご本人の確認を行いますので、申込された時の住所・氏名をご記入の上、確認できるものを添えて窓口へご提出ください。なお、申込時に登録されている住所・氏名以外ではご本人の確認方法がありませんので、ご了承ください。

### ★マナーについて

- 開講にあたり、させば夢大学の品のある学生として、以下の点を今一度ご確認ください。
- スマホや携帯電話等の「電子機器」の電源は、確実にお切りください。
  - 座席取りはおやめください。
  - つばの広い帽子の着用はご遠慮ください。
  - 講演や演奏中の私語は謹んでください。
  - 写真撮影及び録音・録画は禁止です(著作権法の関係上)。
  - ホール内の飲食はできません。

### ★お知らせ

- 1階会場の最後尾列に、車イス等の方のために、優先者席をご用意しています。ご遠慮なくお申し出ください。
- 会場3階席へのエスカレーターは、原則として17時45分～18時30分の間、稼働していません。どうぞご利用ください。
- 忘れ物にご注意ください。席を立たれる前に、今一度ご自身のお席を確認ください。

### ★ふるさと紀行について

今月から、「西海の霸王」の著者で、吉井エコツーリズムガイドの和田隆さんによる「ふるさと吉井紀行」が、新たにスタートしました。どうぞご期待ください。

### ★アルカスSASEBOの公演チケット割引について

させば夢大学の学生証をアルカスSASEBOチケットカウンターで提示されますと、1会員で1公演「2枚まで」、一般料金から「5%割引」で購入できます。ご活用ください。

### ★講演を聴かれた感想をお待ちしています

600字程度にまとめて、させば夢大学事務局までご郵送ください。締切日は原則として、講演日の1週間後の木曜日(必着)です。なお、4月の締切日は、4月25日(水)(必着)と致します。